

## 第78回福島大学経営協議会議事要録

1. 日 時 平成28年9月13日（火）13時30分～14時35分

2. 場 所 福島大学事務局棟 第2会議室

3. 出席者

【学外委員】阿部正、斎藤美幸、田原博人、富田孝志、林由美子、  
深澤秀樹

【学内委員】中井勝己、中田スウラ、三浦浩喜、小沢喜仁、若井祐次、  
千葉養伍、久我和巳、阿部高樹、二見亮弘

〔オブザーバー〕 副学長：真田哲也、千葉悦子

監 事：上井喜彦、橋本潤子

4. 欠席者

【学外委員】伊藤泰夫、清水潔、早川信夫、八島洋一、渡邊博美

5. 議 事

### 【報告事項】

- (1) 中井プラン 2021 の進捗状況について
- (2) 平成29年度概算要求額の伝達等について
- (3) 第2期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る承認申請について
- (4) 平成28年度監事監査計画について
- (5) 2016 オープンキャンパスの報告について
- (6) その他

議事に先立ち、中井学長から挨拶があった。

### 【確認事項】

第75回、第76回、第77回経営協議会議事要録を原案のとおり確認した。

### 【報告事項】

- (1) 中井プラン 2021 の進捗状況について  
中井学長から、資料1に基づき、平成27年1月に発表した中井プラン2021の進捗状況について報告があった。

(以下、◇はその議題に関する学外委員からの質問・意見、◆は大学側の回答等を表す。)

◇プランをもとに PDCA サイクルをまわしていくことが重要である。また達成の時期などが違うものについては、達成した後に見直しを図り、継続して取り組むことが重要だろう。

また、最初に作ったプランのままを進める必要はないので、プランの再検討を含め、方向性やプラン内容を一部変更したりしてもいいのではないかと。

◆例えば、プラン 14 の想定事項「本学としての強みの研究テーマを重点化し、研究成果を発信する」については、昨年 27 年度から「重点研究分野 4 研究の指定 (foR プロジェクト)」の制度を設け、学内で予算を新たに配分している。このように、もうすでに実施し、ある程度進んでいる取組みに関しては、実施内容を検証し、毎年フィードバックする必要があるだろう。過去にも同様に学長がプランを提示していたが、実施内容について検証までは行われていなかったため、今回は精査をし、今後に向けて検討を行っていききたい。

◇教職大学院の設置や農学系組織の検討が本格化するなどして、限られた組織の中で業務が増え、組織改革もまた進めていかななくてはならないだろう。今後こういった方向に向かっていくのかも含め、どのような検討をしているのか。

◆現在、教育改革の議論を本格的に進めていこうとしており、特に共通教育などを見直し、カリキュラムの一部についてスリム化することなどを検討している。これからは、特に農学系教育研究組織の設置に向けて学内資源等を集中させていけるようにしたい。

## (2) 平成 29 年度概算要求額の伝達等について

若井理事から、資料 2 に基づき、平成 28 年 8 月 31 日に文部科学省から伝達があった、運営費交付金概算要求額及び施設整備概算要求事業について報告があった。

## (3) 第 2 期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る承認申請について

若井理事から、資料 3 に基づき、第 2 期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る承認申請が文部科学大臣の承認額及び充当する業務

の内容について報告があった。

(4) 平成28年度監事監査計画について

上井監事から、資料4に基づき、平成28年度監事監査計画を学長へ通知したことを受け、その内容について報告があった。

(5) 2016 オープンキャンパスの報告について

真田副学長から、資料5に基づき、2016 オープンキャンパスの来場者数について報告があり、あわせて今年度初めての取組みとなる「福島大学秋のオープンキャンパスウィーク」について説明があった。

◆オープンキャンパスのアンケートを現在集計中であるが、来年度に向けて満足度をより高められるように検討していきたい。また、「秋のオープンキャンパスウィーク」は本学では初めての取組みということもあり、広報等の準備期間が十分に取れず、参加者数はあまり見込めないが、来年度以降の事業に生かすことができるように取り組んでいきたい。

◇福島大学をアピールできる企画だと思うので、マスコミ等をうまく利用しながら情報発信をしていけるといい。

◆地元新聞社に往訪し宣伝する予定なので、アピールしていきたい。

◇オープンキャンパスウィークでの高校生が講義に参加するという企画について、通常の講義においても高校生が参加できるような場を設けているのか。他大学の先行例を調査しつつ、高大接続という観点から、高校と連携して本格的な講義に高校生が参加できる機会があるといいのではないかと。

◆過去に一度、個人の教員レベルでは高校生がゼミに参加するといった企画があったが、現在そのような活動は把握していない。また模擬講義の企画はあるが、通常の講義での高校生の参加はやっていないので、恒常的に高校と連携して講義に参加する形の企画も検討していきたい。

(6) その他

特になし